

# 修了生の活躍事例

## 東北能開大への入校動機

出身である工業高校で培ってきた、電気系統の知識、技能（電気工事、シーケンス制御、プログラミング、電子工作など）をより実践的に学び、電気エンジニアとして成長するために入校しました。

## 大学校の後輩へのコメント

一概に電気系といってもその職種は多岐に渡ります。東北能開大では幅広い内容の講義を行ってくれるので、その中で自分に合ったもの、自分のやりたいことを探してみると良いと思います。

私も最初は高校時代を通して、電気工事に力を入れてきましたが、東北能開大でシーケンス制御やプログラミングを学んでいくうちに興味が惹かれるようになり、現在の仕事を選びました。

ぜひ、充実した学校生活を送りながら自分自身の可能性を広げていってください。

ソニーストレージメディア  
マニュファクチャリング株式会社

舟越 大貢さん

東北職業能力開発大学校

専門課程

電気エネルギー制御科

令和元年度 修了



## 就職先企業での活躍

### 舟越 大貢さんの業務

私は記録メディアの一つである磁気テープの生産設備の保全、改善を行っています。定期的に行う設備の保全や、生産現場のニーズに合わせた改善、データを用いた設備の予兆管理が主な仕事です。

東北能開大で学んだシーケンス制御とプログラミングはこれらの仕事をこなすうえでとても役に立っています。基礎ができていたので、入社してからすぐに実際の業務に移ることができました。

### 将来の目標

現在、磁気テープ生産現場の一部生産設備を先輩社員の方と担当しています。将来は独り立ちし、より多くの生産設備への理解を深め、保全や改善を行えるようにしたいです。

また、生産現場は何を求めているのか、設備をどう改善すれば生産性を上げられるかを見極める力、そしてそれを実行していく知識、技能を身に付けたいです。



### 職場の上司からの声

現在、先輩社員の指導の下、設備保全、改善業務を担当し、シーケンスプログラム変更や電気工事等は、任せられるまで成長しています。また、単に改善依頼を受けるのではなく、背景や目的を聞き取るにより本質的な対応を行い、製造現場へ貢献することを心掛け行動している点も評価しています。

今後はAI、DXを活用した予兆管理や高度なプロセス制御にも取り組み、第一人者に成長されることを期待しています。

## ソニーストレージメディアマニュファクチャリング株式会社（宮城県多賀城市）

ソニーグループの中で、私たちは記録メディアを中心に事業をおこなっているものづくり会社です。デジタル化社会が進む中で、膨大な情報を低コストで長期的に保存するための記録メディアへの注目が年々高まっており、当社はその記録メディアとして、注目をされているテープメディア、光ディスクメディアの両方の製造技術を持つ世界で数少ない会社として、多くの独自技術を保有しています。

ソニー創業以来、世界中のお客様に記録メディアを活用していただき、膨大な情報を未来に届けています。

現在 東北職業能力開発大学校修了生 10名が活躍中

